

ささゆり

平成29年5月
第97号
年4回発行

With all our hearts

桜と笑顔がいつぱんに咲きました!



総合福祉施設 社会福祉法人 ささゆり会

サンライフ御立
〒670-0072
姫路市御立東5丁目1番1号
TEL.079-291-6666 FAX.079-291-6667
施設長 笹山 博司

サンライフ魚崎
〒658-0083
神戸市東灘区魚崎中町4丁目10番50号
TEL.078-435-6688 FAX.078-435-6689
施設長 佐藤 光子

目次	頁
お花見	①
褥瘡(床ずれ) 予防と対策について	②
行事等	③
新しい風・御立トピックス	④

新しい風

サンライフ魚崎に8名の新入職員が加わりましたのでご紹介させていただきます。フレッシュさで施設全体を盛り上げていきたいと思えます。よろしくお願ひ申し上げます。

特別養護老人ホーム



江口 光
この度、介護職として入職致しました。日々精進することを忘れず、誠実さを持ち続けることのできる介護職員になりたいと思えます。



正田 絢也
大学時代は介護の事は全く学びませんでした。不安はありますが、利用者様が楽しく暮らせるよう頑張ります。



北条 駿
まだまだ知らない事や出来ない事も多いですが、失敗は成功の基なので、失敗を積み重ねて立派な職員になりたいと思えます。



水口 拓也
介護は未経験で知識はほとんどないのですが、日々勉強しながら笑顔を忘れずに頑張りますのでよろしくお願ひします。



常深 佑衣
前職の特養での経験や知識を活かして、多職種の方と連携して利用者様にとって過ごしやすい環境を作っていけるよう頑張ります。

ケアハウス



今田 健太郎
私は、入居者様に安心して楽しく過ごして頂きたいので、そのために一生懸命に介護の仕事を覚えられるように頑張ります。良い施設にしていくために、私も明るく、優しく接していくように頑張ります。



関木 亜結美
サンライフ魚崎の職員として働かせて頂くことになりました。一日でも早く入居者様のお役に立てる職員となれるよう、頑張っていきたいと思えます。



丸山 莉佳
私は、中学生の時から介護福祉士になるのが夢だったので実現できて嬉しいです。入居者様との関わりを大切にしたいので支障していききたいです。

御立トピックス

QCサークル活動で チャンピオン大会「褥瘡者数の減少」で 賞を頂きました!!

昨年度のQCサークル活動でチャンピオン大会「褥瘡者数の減少」を見学させて頂きました。職員間の褥瘡への知識を高める取り組みをQCメンバーが中心となって実践しました。専門性の高い介護提供が出来る様積極的に、他職員へ声掛けをしました。結果、褥瘡者数が減り目標達成することができました。

QCサークルを引き継ぐにあたり施設では様々な問題点や課題があると思えます。メンバーで話し合い、積極的に取り組んでいきたいと思えます。他職員への周知徹底を行いより良い職場環境に努めたいです。そして自分自身もQC活動を進めていく中でスキルアップを目指し頑張っていきたいです。



ささゆり会事業報告

- ◆ 法人本部
- 一月 第七回理事会
- 二月 第八回理事会・第二回評議員会
- 三月 第九回理事会・第三回評議員会
- ◆ サンライフ魚崎
- 一月 初詣
- グループホーム運営推進会議
火災避難訓練
- 二月 甲子園短期大学実習受入
- 三月 サービス推進会議(サンライフ御立)
甲子園短期大学実習受入
グループホーム運営推進会議
苦情相談委員会
夜勤者健康診断
入社式

サンライフ魚崎の寄付ボランティア

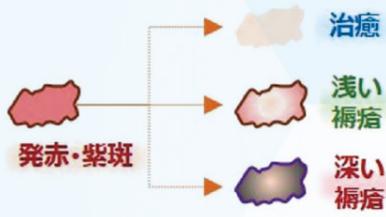
- 平山卓甫 村津恵子 丸川清子 伴淑子
- 西村笑子 浜上千鶴子 増井弥生 遠藤眞理子
- 岩田久美子 棕本友子 九ノ里治郎 山口公是
- 永島良子 池上千代子 内藤澄子 山下春子
- 田中良子 高島加代子 西園節代 森イッ子
- 若原道子 竹内耐子 志保志子 夏苜孝子
- ナルク東神戸 グループ「わ」楽縁会
- オカリナ・アミカ ワーキングキヤッツ
- 大正琴 和楽舞 かたつむり

平成二十九年一月〜三月(順不同・敬称略)

褥瘡(床ずれ)予防と対策について

床ずれとは… 寝たきりなどによって体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり、滞ることによって皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり傷が出来てしまうこと。

急性期 → 慢性期



症状

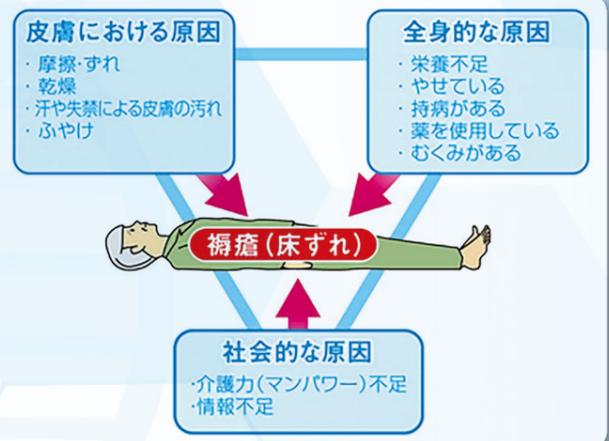
体力低下、痩せてきた、赤みがでてきた…

要注意!!

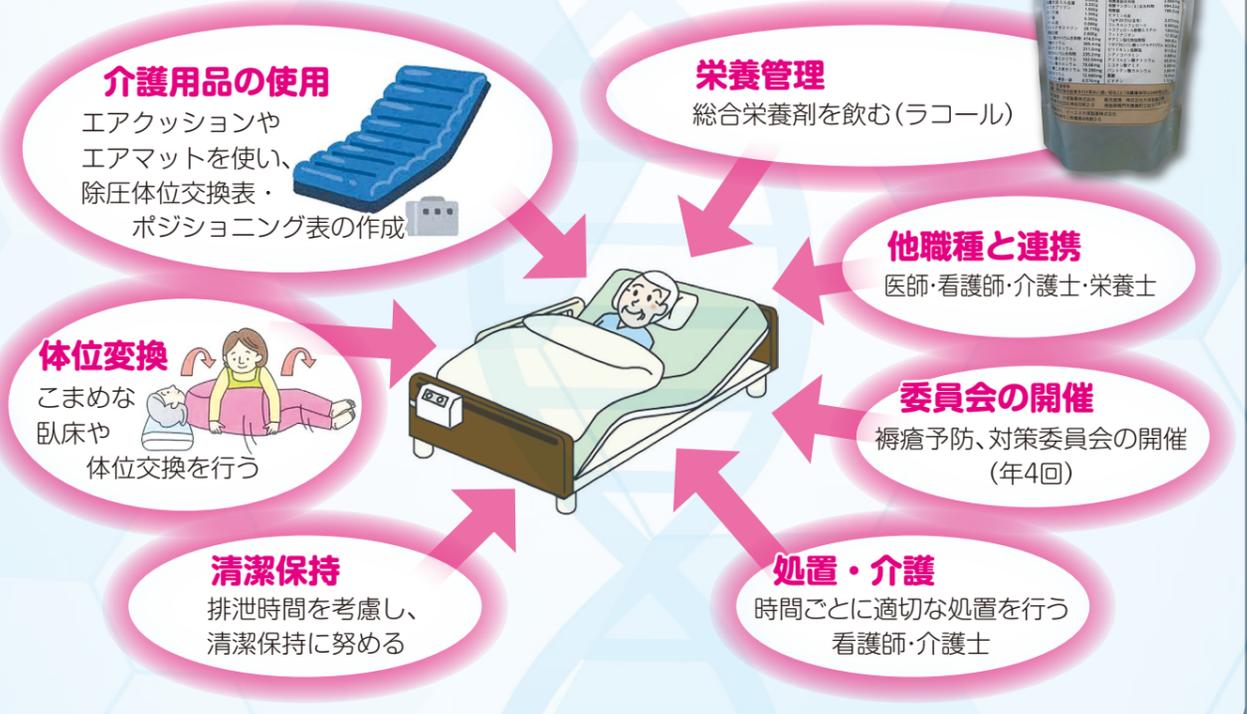


褥瘡ができる原因

一度、褥瘡が出来てしまうと、本人様の苦痛につながると共に、なかなか治りにくいので、早期発見、褥瘡予防と対策が何より大切です。



サンライフでの褥瘡予防と対策



お花見

4月6日、川井公園までお花見に行きました。皆で歌を歌ったり、踊りを踊られたり楽しまれた後、桜の下で食べるお花見弁当はとても美味しく皆様笑顔で召し上がっておられました。
外出中、皆様活き活きとした表情をされ、外の景色をじっくりと鑑賞しておられました。桜の下で集合写真を撮ることもできました。また来年も皆様と一緒にお花見に行きたいと思えます。



ベトナム介護福祉士候補生懇親会



4月3日に、兵庫県にて就労しているベトナム介護福祉士候補生の第2回懇親会を行いました。日本の文化についても知ってもらおうと、世界遺産である姫路城の散策と食事を開きました。普段は、各施設それぞれ介護福祉士の勉強をしながら業務を行っています。候補生が集まり、お互いの近況や情報交換等して、リフレッシュできたようです。

特別養護老人ホーム サンライフ魚崎 ラインさん

私は、日本に来日して一年ぐらいいになります。私にとって初めて桜が咲く春の季節になってまいりました。日本に来て間もない頃に比べ、日本の言葉が苦手な私がいままで話せるようになるなんて、その当時、思いもよっていませんでした。職場の仲間や生活の場でお世話になっている皆様のおかげで、言葉が少しずつ上達していくのを実感しております。

特別養護老人ホーム サンライフ魚崎 ラインさん

去年から四か月に一回ベトナムのEPAの介護候補生が集まることになっています。この活動は、とても私たちに役に立つと思います。今回、集まることはちようど桜の咲く時期ですが、去年に比べて今年は遅く咲きました。でも、友達に会えたり、おいしい食事を食べたり、良い天気と一緒に散歩したりしたこと、良かったと思います。こんな活動のおかげで仕事と生活のストレスを緩和すると思えます。これからもこんな活動を楽しみにしています。



認知症サポーター(オレンジリング)

皆様は、「認知症サポーター」をご存じでしょうか。認知症は、誰もがなる可能性のある脳の病気で、認知症高齢者は年々増加傾向にあります。認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるには、周囲の人の理解と気遣いが必要です。認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。地域包括支援センターでは、認知症サポーターを多くの方に知ってもらうために、地域でのお声かけや養成講座などを行っています。養成講座では、スライドや座談会で認知症についての理解を深めていただき、講座終了後に認知症の人を支援する目印となる「オレンジ・リング」をお渡ししています。参加者の皆様からも「支援をする人が一人でも多くなることで、認知症の方が安心して生活できることに繋がると学べた」とのお声をいただいています。これからも、認知症サポーターの輪が広がり、地域の皆様に住み慣れた土地で安心して過ごしていただけるよう、活動を行っていききたいと思います。

